

### 答

国内での発生を受け、養鶏農家ははじめ、学校等の鳥類飼育施設に対して、異常の有無を確認しています。

これまでの検査の結果、県内の養鶏農家は全て異常がありませんでした。現在も、養鶏農場を対象に、再度立ち入り検査を行っています。鳥類が異常を示した場合の早期通報について、引き続き周知徹底を図っていきます。また、万一発生した場合の初動対応について、既にマニュアルを検討し準備をしているところです。また、鶏肉や鶏卵に対する正しい知識の普及を図り、風評被害が起らないように努めます。さらに、小学校などで飼育されている鶏の状況についても、全ての施設で異なることを確認しています。

●その他の質問事項  
・道路問題

他

### 地方の裁量の拡大を

三位一体改革と地方分権

吉川 実議員  
自由民主党 無所属議員(上野市選出)

現在、国の関与の縮減や、地方の権限と責任の拡大等の観点から、国庫補助負担金、地方交付税、税源移譲を含む税源配分のあり方が、「三位一体の改革」として検討されています。しかし、平成十六年度の国家予算案は、地方の裁量や自由度を高めるといって三位一体改革本来の趣旨からほど遠いものとなっています。また、歳出削減中心の国の財政再建策にすり替わったものと言わざるを得ません。全国知事会でも基本的な考え方を検討されていますが、そもそも三位一体改革は、地方分権の理念に沿って納税者に近いところで行政サービスが行われるという納税者本位のものであるべきと考えますが、知事の所見をお聞かせします。

### 答

国の平成十六年度予算編成における「三位一体の改革」は、国の財政再建を優先した色彩が強く、地方分権推進の目的からは不十分と言わざるを得ません。全国知事会でも三位一体の改革の考え方をとりまとめているところですが、知事会の中でも色々な考え方が出ており、例えば、義務教育費国庫負担制度については、当初の知事会の考え方と私が今考えていることでは差異が生じています。そういった点も含めて、全国知事会や国に対して、機会あるごとに積極的な働きかけを行います。三位一体の改革は十六年度が正念場で、地方財政にも大きな影響を与えるものであり、そういう気持ちで取り組んでいきます。

●その他の質問事項  
・組織機構改正の林業部門の環境部移管他

### 新しい県の観光価値の創造を

観光医療産業の提案

稲垣 昭義議員  
新改みえ(四日市市選出)

観光産業は県の特徴ある基盤産業ですが、非常に厳しい状況にあります。三重の元気づくりのためにも、これまでの観光のあり方を見直し、新しい観光の価値を創造していく必要があります。一方、二十一世紀の基幹産業と位置づけられている観光産業とともに、現在、医療・ヘルスケア関連産業が大きな成長分野と考えられています。幸い、三重県には、伊勢神宮、熊野古道、伊勢志摩地域の海洋資源や各地の温泉など、この医療・ヘルスケアに応用可能な観光資源がたくさんあります。そこで、癒しとスローライフを切り口として、観光と医療・ヘルスケアの



分野を結びつけ、新たな産業「観光医療産業」として徹底した育成を図っていくことを提案するものです。医療が治療から予防に移行しつつある中、三重県に大きなチャンスが訪れていると考えますが、所見をお聞かせします。

### 答

県では、本年度から起用した観光プロデューサーを中心に、観光商品づくりを進めています。健康やヘルスケアにつながる地域資源を活かした商品づくりを付加することで、さらに魅力ある観光施策を展開していきます。なお、観光と予防医療やヘルスケアの連携については、新たな取組として期待の持てる考えであり、今後、研究するとともに、具体的な事業提案があれば、その支援方法を検討していきたいと考えています。

●その他の質問事項  
・放課後の児童・生徒の居場所についての提案他

### 文化を支えてきた技術・技能に支援を

三重の文化戦略

松田 直久議員  
新改みえ(志都選出)

私は、人々の能力や技術が「文化」を編み出し、色々な感性を形として、また物として築き上げてきたのだと考えています。例えば伊勢神宮の御遷宮では、建て替えの度に「から図面を作ること」で、これは人の手による方がコピーより精密に復元できるからだと言います。また、高田本山「専修寺」では、その修復のため、国宝級の屏風や掛け軸が県内で複製されています。こうした技術が三重の文化や歴史を築き上げてきたのです。また、県内には他府県と比べても優秀な方々が非常に多いと言います。そこで、県が五十年後を見据えて文化のグラウンドデザインを策定しようとするならば、こうした技術・技能を守り、継承、発展させていくべきと考えますが、知事の所見をお聞かせします。

### 答

技術や技能については、それ自身が固有の文化的価値であることから、文化のグラウンドデザインを策定する中で、それらを守り、育てていくしくみや手法についても検討していきたいと考えています。また、三重県技能士会等との連携により、三重の文化や産業を守り、支えていく人材確保に向け、様々な技能を有する方々の地位向上と幅広い分野における将来の技能者育成のための事業を引き続き推進するとともに、国との連携により、地場産業や伝統産業の後継者を育成・確保する対策の実施についても検討していきたいと考えています。

●その他の質問事項  
・三重の観光戦略

他

### 事業計画を明らかに

紀南地域の振興策とアクセス

森本 繁史議員  
自由民主党 無所属議員(熊野市選出)

紀南交流拠点施設の整備構想と、ん挫し、これに代わるものとして、行政と地域の皆さんが協働して「紀南地域の振興策」が策定されました。このプランに基づき、振興策の具体的な取組内容として、「集客交流」、「産業振興」、「健康長寿」、「スポーツ」及び「生活環境」という五つの柱からなる事業の計画が検討されています。しかし、住民にはその中身や形が見えてきません。そこで、県として具体的に何をどのように進めていくつもりなのか、その取組をお聞かせします。「集客交流」については、地域資源を活かした集客交流事業の推進を図るとともに、滞在型の集客交流地域をめざして中核となる交流施設の整備を進めていくこととしています。「産業振興」では、生きがいづくり、健康づくりや産業おこしをめざした園芸福祉のモデルとなるような地域



づくりを進めることにも、新規就農者の導入促進と受入支援体制の整備などを進めていくこととしています。「健康長寿」では、保健・医療・福祉分野の統合と連携による新しいシステムに向けて、住民総合窓口の創設などのサービス提供システムの構築などを進めていくこととしています。また、「スポーツ」では広域での総合型地域スポーツクラブの展開などを支援していただくにも、「生活環境」では、環境美化に向けての官民共同での活動体制づくりや、地域防災活動体制の支援などを進めていることとです。

●その他の質問事項  
・県内の治水(利水)の現状と対応 他

### 地域と密接な連携を

第二名神高速道路(四日市・亀山間)の整備促進  
無所属MIE(三重県選出) 館 直人議員

### 問

第二名神高速道路の四日市・亀山間の整備については、道路公団の民営化が進められている中、いまだその整備方針が示されず、特に菟野・亀山間の施行命令が出ていないという状況です。そのため、地元では大きな危機感をつらせています。単に高速道路が欲しいというのではなく、四日市市を中心とした深刻な渋滞対策や、企業誘致等の地域活性化という面からも必要不可欠な道路なのです。地元でも整備

第二名神高速道路 海岸長島I.C付近



促進に向け、北勢地域の経済団体が中心となって「第1名神促進北伊勢経済団体会議」が設立されました。また、菟野町と四日市市を中心に民間組織を立ち上げ、取り組みとする動きも始まっています。

必要とあると強く感じています。こうした中、新しく民間有志の会や経済団体による組織が設立されたことは、県としても非常に力強いものと感謝しています。今後は、これらの団体の活動を踏まえて、幅広く皆様に理解をいただくよう努めるとともに、県民の皆様と一緒に、国等の関係者に理解が得られるまで、ねばり強く訴えていきます。

### 答

県では、今まで以上に、県民の切実な思いを国等の関係者に効果的に伝える工夫をしていくことが必要とあると強く感じています。こうした中、新しく民間有志の会や経済団体による組織が設立されたことは、県としても非常に力強いものと感謝しています。今後は、これらの団体の活動を踏まえて、幅広く皆様に理解をいただくよう努めるとともに、県民の皆様と一緒に、国等の関係者に理解が得られるまで、ねばり強く訴えていきます。

●その他の質問事項  
・農業振興策 他

### ユニバーサルデザイン先進県・三重のゆくえ

誰にでも優しい三重県政をめざして  
自由民主党 無所属議員 鈴木 誠議員

### 問

最近、ユニバーサルデザインという言葉が理解されつつあります。これは、まじまじとくくりやものづくりを進めるにあたり、年齢、性別、身体、国籍など、人々が持つ様々な特性や違いを越えて、はじめから全ての人々が利用しやすい、全ての人に配慮したデザインをしようとする考えです。県は早い段階からこれを実行するためのチームを設置し、全庁的に事業を実施してきました。先進県であると評価できるとともに、パリアフリーの考えから一歩先んじて取組を進めてきたと言えます。しかし、平成十六年度の組織改

ユニバーサルデザインに基づく三重北勢健康増進センター



正でこのチームが廃止される予定です。ユニバーサルデザインは国際化・情報化時代を創造していくための本質的な考え方だと思いますが、知事の見解をお聞きします。

### 答

県では、平成十一年に「パリアフリーまちづくり推進条例」を制定するとともに、推進本部を設置して全庁的にパリアフリーのまちづくりに取り組んでまいりましたが、これをさらに一歩進めた、誰もが自由に社会参加できるユニバーサルデザインのまちづくりを進めることが重要であると認識しています。こうしたまちづくりを進めるには、行政だけではなく、県民一人ひとり、NPO、地域の団体など多様な担い手の皆さんとともに、役割分担をし、協働で展開していく必要があります。それが、今後、県政がめざしていくユニバーサルデザインのまちづくりであると考えています。

●その他の質問事項  
・海岸環境の保全と整備 他

### 財政の適正な収支を

そんなにも悪いのか?三重県財政  
自由民主党 無所属議員 松阪市・飯南郡選出 竹上 真人議員

### 問

知事からよく「県財政の危機的状況」という言葉を耳にしますが、様々な指標を全国と比較しても財政状況は非常に優秀だと言えます。その上、県の黒字額は他県に比べて大変大きくなっています。

一方で、この二、三年行政サービスに直結する経費を削減してきた結果、三重県の財政規模は他県に比べて非常に小さくなっています。しかし、例えば平成十六年度予算で、借金に係る収支を除いた基礎的収支で見ると、百二十億円ほどの収入超過となっており、毎年の借金返済額を減らすなどすれば、少なくともあと百億円ほどの支出を増やすことも可能です。そういう意味で、私は県財政について、厳しくはあるが決して危機的状況とは考えていません。何をもちって危機と言うのか、具体的な説明をお聞きします。

### 答

財政の弾力性を表す「経常収支比率」は、近年では望ましいとされる八十%を超え、財政の硬直性を表す「公債費負担比率」も危険ラインとされる二十%を超えている状況で、現在の財政運営や起債発行規模を続けていけば、将来危機的な状況に陥ってしまいます。日本経済について復活の兆候が見えてきたことは非常に喜ばしいことですが、行政の面からは財政状況を一気に好転させるような状況にはありません。また、義務的経費が高い水準で推移しているとともに、国の三位一体の改革もこれから正念場であることを考慮すれば、県の財政について甘い考え方をすることは全くできないと考えています。

●その他の質問事項  
・がんばれ!木材

### 揖斐川の治水安全度の向上を

ダム関連事業  
西塚 宗郎議員  
新設みえ(桑名市選出)

### 問

揖斐川の治水は、揖斐川流域の住民はもとより、桑名市や多度町の住民にとってもたいへん重要な課題です。現在、その上流の岐阜県内で、洪水調節や利水

### 県の取組方針を明確に

情報政策  
自由民主党 無所属議員 桑名市選出 山本 勝議員

### 問

これまでの県政では、情報と環境を二大政策として掲げてきました。特に情報の分野では、情報関連ビジネスの支援等を目的として(株)志摩サイバーウェイジャパン(CWJ)を立ち上げたり、地域情報化をめざすNPO法人デジタルコミュニケーションズ地域情報推進センター(DCCS)に参加するなど、要は年齢を問わず、誰もがどこでもITを共有できるユビキタス政策を目指してきたと言えます。しかしCWJの経営状況は厳しいものとなっており、DCCSについても今年度限りで負担金の支出をしないとのこととです。一方で、IT利活用に係る有識者懇話会を設置したと聞きますが、知事は就任以来、いまだ県の情報政策を打ち出していません。そこで、情報化社会の推進に向けての方針と構想についてお聞きします。

### 答

ITの利活用に係る有識者懇話会による県民サービスの向上、県民生活におけるITの利活用の方策、情報セキュリティ対策と個人情報保護の徹底、情報活用能力の向上と情報格差の解消、ITの利活用による産業の活性化などを議論いただいているところです。今後、三重県のIT社会の推進に関する考えなどについて、今年六月を目途に議論の成果をいた

### 多様な主体とのワークシェアリングを

県独自の雇用政策と外部委託の推進  
自由民主党 無所属議員 志摩郡選出 中嶋 年規議員

### 問

県では「外部委託化にかかるガイドライン」を設定し、民間企業に対して定型的業務、施設管理や検査業

●その他の質問事項  
・地方自治法改正に伴う指定管理者制度他

### 答

から多度川合流点までの間は、国が新たに導入した緊急対策特定区間制度に着手されたところで、平成十九年度の完成をめざして低水護岸や堤防補強及び九箇所の樋管改築が進められています。このうち、県管理河川の本川合流部に設けられている、深谷水門・御砂樋管・前川樋管についても、平成十九年度までに国において整備されると聞いています。今後とも、着実に事業が推進され、徳山ダムとあわせて一体的に治水安全度の向上が図られるよう、引き続き国に対して働きかけていきます。



### 答

県民と行政がともに公を担うという考え方を新しい時代の「公」ということで整理し、総合計画の中にも掲げたところです。しかし、その実行に際しては、まだまだ検討すべき課題も多く、議員から提案のあった観点についても検討すべき課題だと考えます。いずれにしても、新しい時代の「公」のあり方を反映したガイドラインとなるよう、今後柔軟に対応していきたいと考えています。

●その他の質問事項  
・合併市町村の行政運営(システム)に対する支援 他

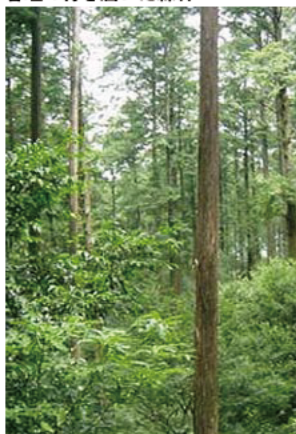
### 森林環境の視点

三重県庁・未来への感性を問う  
桜井 義之議員  
新設みえ(亀山市・鈴鹿郡選出)

### 問

海山町の速水林業が国内で初めてFSC認証を取得されました。これは、自然環境等に配慮した持続可能な森林管理がなされている森林を認

管理の行き届いた森林



●その他の質問事項  
・不易流行 他

●その他の質問事項  
・PDFに係る最近の取組状況 他

